

教師海外研修の流れ

参加決定から授業実践まで、半年間にわたる研修の流れをご紹介します。



海外研修に向けた準備

派遣前研修では、訪問国の現状、開発課題等への理解を深めると共に、現地研修での「視点」について考えます。また、国際理解教育指導者研修に参加いただき、研修後の授業立案や実践のためのスキルアップを図ります。



海外研修

学校訪問、JICA プロジェクト現場の視察、JICA 海外協力隊との意見交換、現地の人々との交流等を通じて、訪問国の現状、そして開発途上国をとりまく状況について、様々な角度から考えます。



授業実践に向けた準備

帰国後研修では、訪問国で得た体験や資料をもとに指導案を作成し、意見交換をしながら検討を重ねます。



模擬授業

海外研修の成果を形にする過程を通して、教員間の生きたネットワークを作ることができます。



授業実践

国内外での研修を通じて作成した指導案に基づき、各所属校において授業実践を行い、指導案の更なる改善を図ります。

成果報告会

国内外での研修、授業実践を行った成果を教育関係者や一般の市民を対象として報告を行います。

過去の参加者による指導案は下記よりご参照ください。

国内研修：<https://www.jica.go.jp/sapporo/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/domestic/report.html>
海外研修：https://www.jica.go.jp/sapporo/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/practice_report.html



2023年度JICA北海道教師海外研修

募集要項

Kyrgyz Republic キルギス共和国 2023/12/23～30

私たち日本人のルーツはここに ～現地体験からつくる 世界に一つの授業～



キルギス共和国研修のプログラム（案）

- 学校訪問、児童/生徒/教員との交流・インタビュー
- 地域住民との交流・インタビュー
- JICAプロジェクト現場視察、JICA海外協力隊活動視察、NGO活動現場視察等

訪問国 キルギス共和国 の基本情報

正式名：キルギス共和国
首都：ビシュケク（Bishkek）
言語：キルギス語が国語（ロシア語は公用語）
宗教：主としてイスラム教スンニ派
民族：キルギス系（73.8%）、ウズベク系（14.8%）、ロシア系（5.1%）、ドゥンガン系（1.1%）、ウイグル系（0.9%）、タジク系（0.9%）、その他タタール系、ウクライナ系など（2021年：キルギス共和国統計委員会）
面積：19万8,500平方キロメートル（日本の約半分）
人口：670万人（2023年：国連人口基金）
気候：晴天の日が年間を通じて多く、降水量は少ない。国土の9割が山地と高原であり、冬場は寒さが厳しい。12月における首都ビシュケクの平均気温は-2℃。
教育：1年生から4年生が日本の小学校にあたる初等教育、5年生から9年生までが中学校にあたる前期中等教育（ここまでの義務教育）、10,11年生が日本の高校にあたる後期中等教育。初等教育の就学率は100%だが、中等教育では、90%程度。
日本との二国間関係：日本の対キルギス貿易
輸出 48.08億円（ゴムタイヤ及びチューブ、原動機、建設用・鉱山用機械）
輸入 2.29億円（電気機器、織物用繊維及びくず、非鉄金属）
(2023/5/31 キルギス共和国 | 外務省 (mofa.go.jp))



募集締め切り

2023年9月4日（月）17:00まで
（郵送必着、持ち込み提出にて受付）

研修のねらい

本研修は、開発途上国の現状や国際協力の現状について、実際に途上国を訪問し、開発途上国の現状・課題、日本との関係、国際協力の現場を体験することで、開発教育/国際理解教育の意義について理解を深め、継続的に開発教育/国際理解教育の実践を行うことを目的としています。

また、研修参加者同士の意見交換や知見の共有を通して、研修終了後も継続して、JICA北海道（札幌/帯広）と協力し、教育現場においてさらなる開発教育/国際理解教育の推進を図っていただくことも目的としています。

参加者の方には、派遣前・派遣後の国内研修と、開発途上国への海外研修を通じて、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、現地で得られる情報・素材を活用した指導案の作成とその授業実践を行っていただきます。

研修日程（予定）

	場 所	日 程	内 容
第1回 派遣前研修	オンライン	2023年9月29日(金)	オリエンテーション、研修の流れ説明、提出物確認、安全管理案内等
第2回 派遣前研修	JICA北海道 (札幌／帯広)	2023年 10月21日(土)、10月22日(日)	キルギス国基本情報収集、国際理解教育手法を学ぶ
第3回 派遣前研修	JICA北海道 (札幌／帯広)	2023年 11月25日(土)、11月26日(日)	旅程確認、現地での活動準備、渡航手続き等 ※国際理解教育指導者研修(実践編)と合同実施
海外 現地研修	キルギス共和国	2023年 12月23日(土)～12月30日(土)	学校訪問、児童/生徒/教員、地域住民との交流やインタビュー、JICAプロジェクト現場視察、JICA海外協力隊活動視察、NGO活動現場視察等
第1回 帰国後研修	オンライン	2024年1月20日(土)	指導案検討会
第2回 帰国後研修	JICA北海道 (札幌／帯広)	2024年2月3日(土)、2月4日(日)	模擬授業実施、指導案検討会
第3回 帰国後研修	オンライン	2024年2月24日(土)	成果報告会の実施

(参考)

JICA北海道(札幌) 〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25

JICA北海道(帯広) 〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2

参加資格

- 北海道内の国公立/私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校・特別支援学校に勤務する教員で、(ア) 授業もしくはクラブ活動等で国際理解教育を実践し、今後も継続する意志と計画がある方、または(イ) 現在実践はしていないものの、今後、JICAと連携・協力しながら、開発教育/国際理解教育の普及促進に貢献する意欲と計画がある方
- 原則として、応募締め切り時点で年齢が満50歳以下である方
- 所属する学校長からの推薦がある方
- 開発途上国での研修旅行に耐えうる健康状態の方
- 本研修の趣旨・目的を十分理解し、海外現地研修及び国内で実施される派遣前・帰国後研修の全日程（上記日程表参照）に参加可能、かつ積極的に取り組める方
- 帰国後、2024年2月24日までに本研修で作成した指導案に基づき、所属校にて授業が実践できる方
- 必要提出物をJICAが設定する期日までに提出できる方
- 研修報告書及び授業実施報告、研修中（派遣前・帰国後含む）や勤務校等での実践授業の様子を撮影した写真/映像をJICA事業広報のために使用することに同意できる方
- 原則として、過去にJICA教師海外研修、JICA海外協力隊、JICA専門家、ODA民間モニター、国際協力レポーター等、外務省やJICAから海外に派遣された経験のない方
※教師国内研修参加者については応募可とする
- 将来的にJICAが実施する国際理解教育支援事業での講義等の協力が可能な方
- 連絡可能なメールアドレスを所有し（携帯メール不可）、JICAが管理するSNSやメーリングリストに登録可能な方
※研修にかかる情報共有や帰国後のネットワーク等にて活用

募集人数

8名

応募方法および募集締切

所定の応募用紙に必要事項をご記入の上、設問への回答とともに下記の **申し込み・問い合わせ先**（JICA北海道内「教師海外研修担当」）宛に **2023年9月4日（月）17:00（必着）まで** に郵送、もしくは直接JICA北海道（札幌）まで提出ください。

2023年9月15日（金）までに選考結果を通知する予定です。

参加費用

区分	個人負担経費	JICA負担経費
国内	<ul style="list-style-type: none">パスポート取得にかかる費用派遣前・帰国後研修参加における食費、その他個人的な費用予防接種費用（必要な場合）その他個人的な費用	<ul style="list-style-type: none">派遣前・帰国後研修参加のための国内移動（自宅～研修場所）にかかる旅費（経済路線）派遣前・帰国後研修に係る宿泊費（超過分は自己負担） ※研修当日、居住地の都合により、早朝、深夜の移動となる方のみ対象海外現地研修時の国内移動（自宅～羽田もしくは成田空港）に係る旅費、空港使用税（経済路線） ※交通費、宿泊費はJICA規定に基づきお支払いします。
海外	<ul style="list-style-type: none">海外研修中の食費および宿泊費（全旅程で12万円程度 為替相場により変動する場合があります）追加保険の加入費用その他個人的な費用	<ul style="list-style-type: none">訪問国（キルギス国を予定）への入国に必要な査証申請のための費用往復航空運賃および燃油サーチャージ羽田もしくは成田空港および海外での空港使用税往復航空券手配にかかる手数料海外旅行傷害保険加入費現地視察に必要な費用（車両備上、通訳など）

注）国内での各種研修、及びそれに係る移動は旅行傷害保険の適用外ですので、必要に応じ各自でご加入ください。

その他注意事項

- 本研修には、ツアーコーディネーターは同行しないことから、ご自身での情報収集が必要です。
- 参加者の研修中の扱い（年休／研修（職専免））については所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- 本研修では、JICAにおける労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- 研修の参加者として選考された後においても、JICAの指示に従わない方、他の参加者へ迷惑をかける方、研修プログラムに参加できない方、期日までの提出物の提出ができない方については、国内外での研修期間を問わず、研修参加者としての資格を失うことがあります。特に、海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、旅費・滞在費等に係るキャンセル料等は、全額自己負担となります。また、帰路の旅費も自己負担となりますので、ご了承ください。
- 海外研修中に事故等が起こった場合、旅行傷害保険の範囲内において補償します（国内での研修は除く）。
- 研修実施国の諸事情により、予定していた研修プログラムが変更となる可能性があります。
- 本研修を通じて作成・提出いただくレポートや写真等の資料一式は、研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有します。また、広く他の教員の方々にもご参照・活用いただけるよう、JICAのHP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、可能な範囲でご協力をお願いします。
- 応募時にいただいた個人情報、利用の可否を確認のうえ、本研修以外のJICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。なお個人情報は、JICAの内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理します。
<https://www.jica.go.jp/joureikun/act/frame/frame110000019.htm>
- 参加者の研修後の開発教育/国際理解教育への取組みについて、また、JICAの開発教育/国際理解教育事業及び研修のさらなる充実、改善に生かすため、後日アンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いします。

申し込み・問い合わせ先

〒003-0026

北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25 JICA北海道(札幌)内

公益社団法人 青年海外協力協会 教師海外研修担当(JICAより開発教育運営業務委託)

TEL：(011)866-1515 FAX：(011)866-1516 E-mail：hokkaido@joca.or.jp